

KX-HDV330N ファームウェア リリースノート

ファームウェアバージョン：Ver 02.501

Ver01.106 との差分を記述しています。

機能追加

1. 自治体向け IP 告知機能対応
 - ・放送聴取キャンセル後、放送を再開することが可能
 - ただし、動的マルチキャストページングによる放送は対象外
2. 端末にある全ての物理キーを無効にすることが可能
3. 端末から、ネットワーク設定（メニュー - システム設定内）を変更できないモードの追加

機能改善

1. 自治体向け IP 告知機能対応
 - ・外部からの放送のスピーカー音量を上げる。
 - ・ユニキャスト放送着信時の確認トーン（ビープ音）の鳴動可否が選択可能
 - ・1 台の端末を全ての放送グループに所属が可能
 - ・動的マルチキャスト放送メッセージを受信して放送開始までの時間短縮
2. 不在時メッセージ / 不在着信が残っている場合の着信用 LED の点滅パターンが変更可能
3. 保留再呼トーンの鳴動パターンが選択可能（UT 同等音を追加）
4. XML のラベル長を 17 文字（半角）以上の表示が可能
LCD 幅まで対応
5. グループ代理応答（FF キー）の設定を Web プログラミングから実施が可能
6. 発信時、相手応答後、即保留するようなケースにおいて、
ネットワーク遅延等により、2000K よりも先に re-INVITE を受信した場合
保留ができるよう対応を改善（491 を送信）
7. 「183 Session Progress」受信時の対応を改善
8. 2つの端末から同時着信後 一方を（内線ボタン）で応答した時、もう一方の表示方法を改善
9. ヘッドセット通話を保留した後に内線ボタンで保留解除すると、音声パスが切り替わるよう
改善
10. Plantronics EHS Headset CS510 を使用中 相手側切断で自動開放されるよう改善